

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	ナノデス アクキュライン 8	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	△RG	0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：アクキュライン 8**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

**比較対照ボール：アクキュライン 7**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  インチ

表面加工

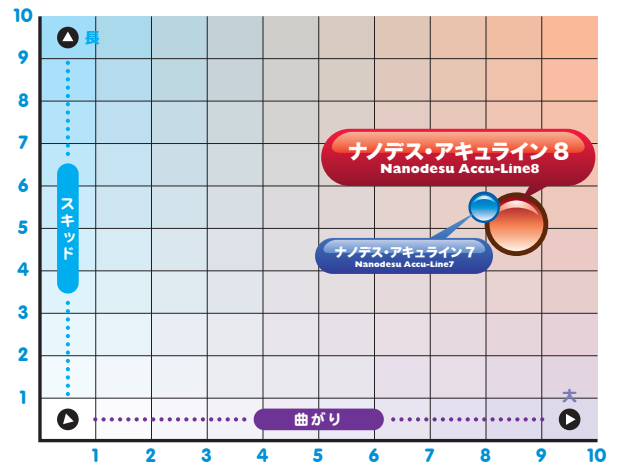
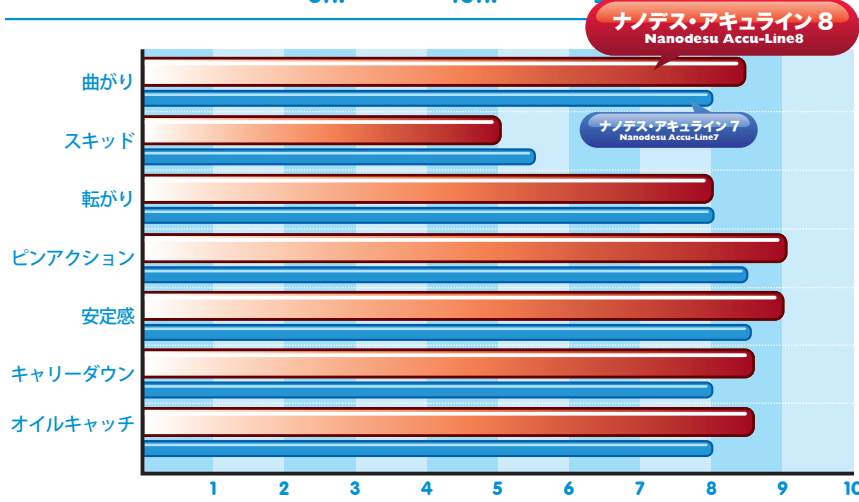
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

新しいコアシステムと新しいカバーストック。そして今までのピンアクションをさらに向上させる新しい衝撃吸収コアシステム。常に進化を続けるアクキュラインシリーズは3つの新しい取り組みをこのアクキュラインVIIIに集約し、飛躍的な進歩を遂げたと言っても良いでしょう。

今回採用されたカバーストック、テストNo. AVEX (Type F)は”AVEX 8 With MICA”と名付けられ、今まで発売されたアクキュラインシリーズで最もドライゾーンでのグリップ感を伴ない、ポリッシュ加工でありながらキャリアダウンの影響が少ない高性能カバーストックです。そしてこの高性能カバーストックを最大限に生かすため、心臓部には転がりを出しながら先でパワーを開放することの出来るアクキュラインVIIIの為に作られたマスバイアスコアを搭載し、緩やかに曲がりながら先でのフリップ感を得られる、ミディアムヘビーなコンディションで最高のパフォーマンスを引き出してくれます。曲がりのイメージはアクキュラインVIの立ち上がりのイメージから加速するようなフリップ感で、その加速感は新しい”衝撃吸収コアシステムIII”と連動し、比類なきピンアクションへと変わります。このボールはテスター一同アクキュラインシリーズ最高傑作と言われるほど満場一致の仕上がりであり、転がりから曲がり、ピンアクション何処をとっても「曇りなき性能」と自信をもって発売致します。ドリルレイアウトはPAPからピン・マスバイアス各々4インチを基本とし、スピードと回転数、ポウラーのタイプにより変化を加えてください。

今年第一弾のアクキュラインはリーグや大会のみならず、プロトーナメントにおいても旋風を巻き起こし、今年話題のボールになることに違いありません。

### 特記事項

**3つの新しい取り組みは転がりから曲がり、ピンアクションに至るまで拘り尽くした証であり、アクキュラインシリーズ最高傑作とも言える曇りなき性能です。**